

胃癌-49

化学療法歴のない・HER2陰性の治癒切除不能な進行・再発の胃癌  
 オプジーボ+XELOX療法 患者プロトコール

催吐リスク
中等度
放射線併用なし

投与プロトコール		投与量	投与日	投与時間	備考
<b>コース数: オプジーボ: 2年間、XELOX: 制限なし</b> << 開始時基準 PS:0~1 年齢:18歳~ >>					
ルートKeep	5%ブドウ糖 500mL	—	day1	—	※オプジーボと5%ブドウ糖液の配合変化は問題ないことを確認済
①	<b>オプジーボ: 360mg/body</b> 生食100mL	mg	day1	30分	
フラッシュ	ルートキープ用輸液でフラッシュする				
プレメディ	デキサメタゾン+5-HT3R拮抗剤 生食100mL	—	day1	30分	※NK1受容体拮抗薬投与については患者毎に検討
②	<b>エルプラット: 130mg/m<sup>2</sup></b> 5%ブドウ糖 500mL	mg	day1	2時間	
内服	<b>ゼローダ (300mg/錠):</b> <b>2000mg/m<sup>2</sup>/day</b> BSA 1.36m <sup>2</sup> 未満: 2400mg(8錠)/day 1.36m <sup>2</sup> 以上1.66m <sup>2</sup> 未満: 3000mg(10錠)/day 1.66m <sup>2</sup> 以上1.96m <sup>2</sup> 未満: 3600mg(12錠)/day 1.96m <sup>2</sup> 以上: 4200mg(14錠)/day	mg/日 (錠)/day	<b>day1 夕~</b> <b>day15 朝</b>	分2 朝夕	
◆オプジーボ投与時の総液量は、体重30kg以上の患者では総液量を150mL以下とする。 ※体重30kg未満の患者では、総液量を100mL以下とするため、生食50mL(生食100mLボトル)に希釈する。					

佐賀大学医学部附属病院